

科目名	専門演習Ⅲ Seminar Ⅲ						
科目担当者	酒井 宏 SAKAI Hiroshi						
単位数	4	配当年次	4	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	各自でテーマを設定し、計画的に卒業論文を執筆します。卒業論文は感想文ではありません。文献や資料（各種統計調査、国会議事録、政府研究会議事録・審議会議事録、労使団体の提言、諸外国の労働法制動向等）を精査し、テーマについての自らの考えを深化することが重要です。素案発表や最終案発表においては、他のゼミ生からの質疑・意見を得ることでテーマについて理解を深めていきます。						
授業の到達目標	①文献・資料の収集と読み込みにより多面的な観点を持つことができるようになること。 ②計画的に遅滞なく実践する能力を獲得すること。						
授業計画・内容	1	ガイダンス	16	卒業論文作成・指導			
	2	研究計画書作成	17	卒業論文作成・指導			
	3	研究計画書作成	18	卒業論文作成・指導			
	4	目次の作成・肉付け	19	卒業論文作成・指導			
	5	目次の作成・肉付け	20	卒業論文作成・指導			
	6	文献・資料の収集と読み込み	21	卒業論文作成・指導			
	7	文献・資料の収集と読み込み	22	卒業論文作成・指導			
	8	文献・資料の収集と読み込み	23	卒業論文作成・指導			
	9	文献・資料の収集と読み込み	24	卒業論文最終案発表①			
	10	文献・資料の収集と読み込み	25	卒業論文最終案発表②			
	11	卒業論文素案作成	26	卒業論文最終案発表③			
	12	卒業論文素案作成	27	卒業論文加筆修正			
	13	卒業論文素案作成	28	卒業論文加筆修正			
	14	卒業論文素案発表①	29	卒業論文加筆修正			
	15	卒業論文素案発表②	30	卒業論文提出			
授業外学修 (事前学修)	テーマについての文献・資料の収集及び卒業論文の執筆（毎週 2 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	指摘・指導内容を踏まえた卒業論文の加筆修正（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	①授業への参加態度・貢献度 ②卒業論文の作成・提出				① 30% ② 70%	①②③ ①②③	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	なし						
参考文献	各自のテーマに合わせて適宜紹介します。						
その他							